

会 議 記 録

会議名 予算特別委員会建設分科会

開催日 令和6年3月13日（水）

開会 午前11時30分

閉会 午後 零時23分

出席者 委 員 副分科会長 市 村 隆

小 平 啓 佑 古 沢 ちい子 大 谷 好 一

針 谷 正 夫 大阿久 岩 人

議 長 中 島 克 訓

傍 聴 者 小太刀 孝 之 森 戸 雅 孝 浅 野 貴 之

大 浦 兼 政 針 谷 育 造 内 海 まさかず

小久保 かおる 松 本 喜 一 梅 澤 米 満

天 谷 浩 明 広 瀬 義 明 氏 家 晃

福 富 善 明 福 田 裕 司 白 石 幹 男

関 口 孫一郎

欠席者 委 員 坂 東 一 敏

事務局職員 事 務 局 長 白 井 一 之

議 事 課 長 森 下 義 浩

主 査 村 上 憲 之

主 事 齊 藤 千 明

委員会条例第21条の規定に基づき出席を要求した者の職氏名

都 市 建 設 部 長	橋 本 真 一
都 市 建 設 部 技 監	深 津 悟
上 下 水 道 局 長	小 野 寺 正 明
道 路 河 川 整 備 課 長	増 山 輝 之
道 路 河 川 整 備 課 長 治 水 対 策 室 長	後 藤 春 美
道 路 河 川 維 持 課 長	阿 部 幸 治
都 市 計 画 課 長	芳 野 英 明
市 街 地 整 備 課 長	大 塚 和 美
公 園 緑 地 課 長	瀬 下 敏 行
建 築 住 宅 課 長	田 村 浩 一
建 築 指 導 課 長	大 橋 涉
上 下 水 道 総 務 課 長	中 山 幸 夫
水 道 建 設 課 長	川 又 俊 行
下 水 道 建 設 課 長	大 森 克 美

令和6年第1回栃木市議会定例会
予算特別委員会建設分科会議事日程

令和6年3月13日 建設常任委員会終了後 全員協議会室

日程第1 議案第1号 令和6年度栃木市一般会計予算（所管関係部分）

日程第2 議案第7号 令和6年度栃木市平川産業団地特別会計予算

日程第3 議案第8号 令和6年度栃木市水道事業会計予算

日程第4 議案第9号 令和6年度栃木市下水道事業会計予算

◎開会及び開議の宣告

○副分科会長（市村 隆君） ただいまの出席委員は6名で、定足数に達しております。

ただいまから予算特別委員会建設分科会を開会いたします。

（午前11時30分）

◎諸報告

○副分科会長（市村 隆君） 当分科会に送付されました案件は、各分科会議案送付区分表のとおりであります。

◎議事日程の報告

○副分科会長（市村 隆君） 本日の議事日程は、配付のとおりであります。

◎議案第1号の上程、質疑

○副分科会長（市村 隆君） ただいまから議事に入ります。

日程第1、議案第1号 令和6年度栃木市一般会計予算の所管関係部分を議題といたします。

なお、各会計の予算に対する説明は、2月9日に開催された議員全員協議会及び各分科会説明表の送付により済んでおりますので、分科会での説明は省略いたします。

また、分科会では質疑のみを行い、討論、表決については3月22日金曜日に開催される全体会において行いますので、よろしくお願いいたします。

これより審査に入ります。

お諮りいたします。本案につきましては、各部局所管ごとに歳入歳出等を一括して審査いたしたいと思えます。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副分科会長（市村 隆君） ご異議なしと認め、そのように決定いたします。

なお、執行部の答弁に際し、質問の内容によりましては担当部長などにご答弁をいただくこともありますので、ご協力くださいますようお願いいたします。

また、質疑に際しましては、一問一答の方法によりページ数もお知らせ願います。

まず、都市建設部所管の歳入歳出等を一括した質疑に入ります。

なお、質疑に当たりましては、分科会説明表の都市建設部を御覧の上、所管部分をご確認いただき、質疑をお願いいたします。

大阿久委員。

○委員（大阿久岩人君） この場所でシェアサイクルの使用料を聞いても大丈夫ですか。65ページ、

このシェアサイクルの3年間の利用状況の報告をちょっとお願いいたします。

○副分科会長（市村 隆君） 大塚市街地整備課長。

○市街地整備課長（大塚和美君） シェアサイクルにつきましては、昨年の7月から本格的な運用を開始しました。現在のところ、2月までの8か月間の利用状況についてご説明させていただきます。

8か月間で約3,500回の利用がされまして、月平均にしますと440回、利用者数は全体で約1,500人、月平均で185人であります。

以上です。

○副分科会長（市村 隆君） 大阿久委員。

○委員（大阿久岩人君） 今のところ右肩上がりということでもいいですか。

○副分科会長（市村 隆君） 大塚市街地整備課長。

○市街地整備課長（大塚和美君） 本年度から本格的に利用を開始しましたので、ちょっと比べようがないので、ちなみに昨年度の社会実験、3か月間実施したのですけれども、そこと比較しますと、利用回数については約15%ほど減少しています。ただ、利用者数は若干であります、3%増加しているような状況であります。

以上でございます。

○副分科会長（市村 隆君） ほかに。

針谷委員。

○委員（針谷正夫君） 63ページの一番下、道路使用料についてお伺いをいたします。

先ほど条例で道路占用料の徴収についてのあれがありましたけれども、今年度は2,680万円というような数字だったのですが、増えていまして2,960万円ということになっていますが、これは条例が変わったことによる見込金額と考えていいのですか。あるいは件数を見込んでいるとか、要因について伺います。

○副分科会長（市村 隆君） 阿部道路河川維持課長。

○道路河川維持課長（阿部幸治君） 令和6年度の予算につきましては、先ほど議案の中でご説明いたしました料金の改定に伴いまして、約280万円増額する予定になっています。ですので、令和5年度の予算に対しまして大体約300万円近くを上乗せといいますか、乗せました金額で予定をしております。

○副分科会長（市村 隆君） 針谷委員。

○委員（針谷正夫君） 念のためですが、これは1年限りというか、しばらくの間はこの金額でいくということですね。

○副分科会長（市村 隆君） 阿部道路河川維持課長。

○道路河川維持課長（阿部幸治君） 予算につきましては、前年度の実績をベースにしまして予算を組み立てておりますので、実は令和5年度につきましては、116件の申請に対しての部分で今回予

算に計上しておりますので、毎年毎年ということではございません。

○副分科会長（市村 隆君） ほかに質疑はございますか。

大阿久委員。

○委員（大阿久岩人君） 265ページ、スマートインターのフォローアップの資料作成業務委託料と書いてあるのですが、中身を少し教えていただきたいと思います。

○副分科会長（市村 隆君） 増山道路河川整備課長。

○道路河川整備課長（増山輝之君） スマートインターチェンジのフォローアップ事業につきましては、昨年9月10日に都賀西方スマートインターチェンジが供用、開通になりました。その後、開通後の利用促進、当初のこのスマートインターチェンジの目的でありましたそれぞれの状況、これがどのように推移しているか、これをフォローアップし、それぞれ協議会に諮るという、そういうものがございまして、そこで来年は施設、それぞれこの地域にあります工場やゴルフ場、そういった施設や会社にアンケート、ヒアリングを行いまして、どの程度利用し、増えているか、そういった実績をつかむものです。また、交通量、そういった計測も行う予定でございます。

以上です。

○副分科会長（市村 隆君） 大阿久委員。

○委員（大阿久岩人君） 今説明を受けたのですけれども、企業のアンケートと言われたのですが、企業のアンケートでこんなに予算かかるのかなという。交通量とかいろいろというのは、プロの世界かと思うのですが、その辺はもう少し細かく説明できればお願いします。

○副分科会長（市村 隆君） 増山道路河川整備課長。

○道路河川整備課長（増山輝之君） 失礼しました。アンケート等につきましては、費用のかかるものではないところでありますが、そのアンケートを調査し、ヒアリング等を行った分析、それから協議会にかける資料をまとめる、そういった作成の業務委託料として計上させていただいております。

以上でございます。

○副分科会長（市村 隆君） 針谷委員。

○委員（針谷正夫君） では、関連して質問させていただきます。

フォローアップということで、アップという言葉がついているので、上昇という意味なのかなと思うのですけれども、例えばその調査をして、スマートインターチェンジが施策として効果があったということだけではなくて、今後当然つなげていく資料として使っていくということの認識でよろしいかお尋ねいたします。

○副分科会長（市村 隆君） 増山道路河川整備課長。

○道路河川整備課長（増山輝之君） まず1点目、効果を測定するというものがまず1つの目的でございます。それから、今後このスマートインターチェンジのもたらす効果をより促進していくとい

う、そういった基礎資料にもしていきたいと考えております。

○副分科会長（市村 隆君） 針谷委員。

○委員（針谷正夫君） 今後のためのスマートインターチェンジですので、有効にその資料を生かしていただくように要望いたします。

以上です。

○副分科会長（市村 隆君） ほかにございますか。

針谷委員。

○委員（針谷正夫君） すみません。その下の道路台帳整備委託事業ということで、去年もお聞きしたのですが、道路のことは何でもこれを開けば分かるというふうな説明だったかと思います。それで、ここに台帳補正ということだけ書いてありますが、そうすると新しい道路ができるとここに載せるとか、あるいは保全をするとそれを載せるとか、そういった捉え方でよろしいのですか。

○副分科会長（市村 隆君） 阿部道路河川維持課長。

○道路河川維持課長（阿部幸治君） 道路台帳の補正業務委託につきましては、現在地理情報システムの中で道路台帳システムを運用させていただいているところなのですが、その中に境界協定を締結したデータを入れたりとか、開発において市道として帰属を受けた道路とか、そういう道路の新しく認定をした道路、あと整備課のほうで整備が完了した道路等のデータを新たに補正して入力するという作業のものでございます。

○副分科会長（市村 隆君） 針谷委員。

○委員（針谷正夫君） 再質疑いたします。

今答弁の中にあったのですが、薄ら薄ら思っただけなのですが、今出た境界をはっきりさせるといことで、よく保全なんかのお話をしますと、境界が分からないのでこころではないかという話がよく出ます。そうすると、今後はそういったことが年ごとに、この道路はここからここまでですよということが分かってくるということによろしいのですか。

○副分科会長（市村 隆君） 阿部道路河川維持課長。

○道路河川維持課長（阿部幸治君） 本来であれば、委員がおっしゃっていると通りの境界の確定というのを行っていきたいというふうには思っているところなのですが、現在の境界の補正という形を取っていますのは、申請者、住民のほうから家を建てますよとかといったときの道路との境界を決めるという境界協定を結んでおります。そのデータを入れるということですので、最終的には道路と民地との境界が全て境界協定を結べるような状態になれば一番よろしいとは思っておりますが、今のところはそこまでには至っていないということになります。

以上です。

○副分科会長（市村 隆君） 針谷委員。

○委員（針谷正夫君） 最後に。そうしますと、道路に変更がある限りというか、毎年この作業が行

われるということによろしいのですか。

○副分科会長（市村 隆君） 阿部道路河川維持課長。

○道路河川維持課長（阿部幸治君） そのとおりでございます。毎年毎年境界協定もしかり、道路の整備及び開発の道路認定等についても毎年ありますので、補正につきましては毎年行うような形になっております。

○副分科会長（市村 隆君） ほかに質疑はありませんか。

大阿久委員。

○委員（大阿久岩人君） 281ページの一番上段、特定外来生物防除対策事業費ということで、これはクビアカなのか。実は昨日、産業教育でも出ていたような気がするのですが、ここへ出てきたこの趣旨をちょっと説明をお願いいたします。

○副分科会長（市村 隆君） 瀬下公園緑地課長。

○公園緑地課長（瀬下敏行君） お答えいたします。

この特定外来生物につきましては、委員おっしゃるとおり、クビアカツヤカミキリが増えてきていることに伴いまして、それを駆除するために予算づけしたものでございます。

以上です。

○副分科会長（市村 隆君） 大阿久委員。

○委員（大阿久岩人君） 予算というか、この1件に対してというか、上限があるのですか、それとも無制限に予算はつくのですか。

○副分科会長（市村 隆君） 瀬下公園緑地課長。

○公園緑地課長（瀬下敏行君） こちらの財源につきましては、特定財源といたしまして、生物多様性保全推進交付金というのを9万9,000円ほどいただいております、そのほかは一般財源で賄っております。

○副分科会長（市村 隆君） 大阿久委員。

○委員（大阿久岩人君） この申込みというか、件数が多ければ、これは増額するということですか。

○副分科会長（市村 隆君） 瀬下公園緑地課長。

○公園緑地課長（瀬下敏行君） こちらにつきましては、個人に対して支払っているものではなく、私ども公園のほうで管理している桜の木などに対して駆除等の作業をしている予算となります。

○副分科会長（市村 隆君） 大阿久委員。

○委員（大阿久岩人君） 分かりました。個人ではなく、これは行政のほうの公園管理をするところの予算という形ですか。

○副分科会長（市村 隆君） 瀬下公園緑地課長。

○公園緑地課長（瀬下敏行君） そのとおりでございます。

○副分科会長（市村 隆君） ほかに質疑はありますか。

針谷委員。

○委員（針谷正夫君） 276ページの一番下の公園費というところで、2億456万7,000円の減ということになっているかと思うのですけれども、276ページの一番下のところです。そのことについて少し説明をいただければと思います。

○副分科会長（市村 隆君） 瀬下公園緑地課長。

○公園緑地課長（瀬下敏行君） こちら主な減の要因でございますけれども、今年度栃木市総合運動公園の陸上競技場の全面改修を、2種更新の関係で行っております。その予算が今年度はついておりませんので、その部分の減が一番大きいものでございます。

以上です。

○副分科会長（市村 隆君） 大阿久委員。

○委員（大阿久岩人君） 271ページの橋梁長寿命化修繕事業費ということなのですが、この主要事務事業にも書いてあるのですが、この修繕というふうに書いてあって、主要事務事業の中に牛落橋の橋梁更新工事と書いてあるのですけれども、牛落橋は全部新しくするわけではないのですか。

○副分科会長（市村 隆君） 阿部道路河川維持課長。

○道路河川維持課長（阿部幸治君） 牛落橋につきましては、全部の架け替えという形で考えております。実は、橋梁長寿命化修繕事業費につきましては、橋梁点検を行いまして、判定3以上の橋梁について、5年以内に早急に修繕及び更新をする事業に充てる事業として考えております。牛落橋につきましては、判定4の架け替えをするしかないというような橋になっていまして、国のほうの補助金、道路メンテナンス事業という補助金をいただきまして、橋の架け替え事業を行っている事業でございます。

○副分科会長（市村 隆君） 大阿久委員。

○委員（大阿久岩人君） 分かりましたけれども、ここに言葉的に長寿命化の修繕と書いてあったものですから、牛落橋が1つの橋台でも残るのかなという形で質問しました。何も残らなくて新築という、新しくなるということ。

○副分科会長（市村 隆君） 阿部道路河川維持課長。

○道路河川維持課長（阿部幸治君） 本来であれば、もちろん修繕という形で橋梁長寿命化修繕計画に基づきまして修繕を実施しているところでありますが、台風19号の影響で牛落橋、半分ほど落橋いたしまして、本来は災害復旧で修繕をする予定であったところなのですが、残っている橋台自体にも異常があるということで、橋台の架け替えも含めての修繕工事ということで、結果的には全面的な架け替えという形になっております。

○副分科会長（市村 隆君） 小平委員。

○委員（小平啓佑君） 関連なのですけれども、牛落橋、牛も落ちる橋ということで、2メートルもなかった橋だったと思うのですけれども、新しく架け替える橋は幅員というのはどれぐらい確保す

ることになりますか。

○副分科会長（市村 隆君） 阿部道路河川維持課長。

○道路河川維持課長（阿部幸治君） 牛落橋の今回新しく架け替える橋につきましては、幅員４メートルの橋を考えております。４メートルプラス高欄といいまして、橋の横のフェンスみたいになっているところが60センチ、60センチですので、全幅では5.2メートルの橋という形になります。

○副分科会長（市村 隆君） ほかに質疑はございませんか。

針谷委員。

○委員（針谷正夫君） 生活道路舗装補修事業費の２億円というものが満額、昨年に続いてということとなりました。それで、これ全般のことについて質問しても大丈夫ですか、道路行政の。

○副分科会長（市村 隆君） はい。

○委員（針谷正夫君） 例えば道路舗装の修繕をやっていく中で、マンホールというか、下水道の蓋なんかが老朽化で上がってきたりとか、道路が下がったりとかありますけれども、そのときに道路を直す側でも苦勞をされている。逆に今度はマンホール側というか、下水道のほうでもなかなか、そこを進入路を造ったときになかなか平らに戻せないとか、いろいろありまして、後工程はお客様というか、次のことを考えてやれというのが、そういうことがありますけれども、だからそのところは、例えば役所の中でも工事をやるときに、据えつけがうまくないので、ほかの部を言っているんですが、例えばそれがきちんとついていけば、もっと工事費が安く上がったのにと、道路の舗装なんかもそうです。そういうことというのは出てきていますか。やりづらいというか、金額には出ないけれども、やっぱりそういうのは全くないというか。できればそこは連携をしてやってもらいたいというのが私の質問の趣旨なのですけれども。

○副分科会長（市村 隆君） 阿部道路河川維持課長。

○道路河川維持課長（阿部幸治君） 実はインフラの部分の話になると思うのですが、下水道だけではなく、水道もしかり、東電の電気のマンホール等もあります。そういうものにつきましては、道路の中に入るものにつきましては、道路占用という形で、占用物件として扱っております。占用を行うに当たりまして、道路工事承認という形で申請をいただくのですが、その段階で一度道路管理者、我々のほうと担当者で協議を行いまして、その復旧方法でいいかどうかという協議を行っています。行った段階でオーケーのものに対して許可を出すという形を取っておりますので、基本的には連携を図りながらやっているというふうな形で私は認識をしているところでございます。

○副分科会長（市村 隆君） 針谷委員。

○委員（針谷正夫君） 予算の審議ですので。そうしますと、予算の額の中にそれが間接的にはうまく連携していれば予定どおりにいくだろうけれども、連携が不十分だと、例えば仕事が多分に手間がかかってしまうみたいなこともあり得ると思うので、あえて額までは聞きませんが、十分に連携

をして、お互いにやりいいような形でやっていただければと思います。

以上です。

○副分科会長（市村 隆君） ほかにございますか。

大阿久委員。

○委員（大阿久岩人君） 285ページ、空き家対策事業ということで、空き家解体の補助金というのが上がっているのですが、これは何件くらい見込んでいるのですか。

○副分科会長（市村 隆君） 田村建築住宅課長。

○建築住宅課長（田村浩一君） お答えいたします。

空き家解体の補助金につきましては、全体で75件ほど見込んでおります。解体補助金のメニューといたしまして、50万円のもの、25万円のものがそれぞれございまして、50万円が10件で500万円、25万円の補助が65件で1,625万円で、トータル2,125万円ということで75件分を見込んでおります。

以上でございます。

○副分科会長（市村 隆君） 大阿久委員。

○委員（大阿久岩人君） 申し訳ないのですが、この50万円と25万円の差というのを少し説明をお願いします。

○副分科会長（市村 隆君） 田村建築住宅課長。

○建築住宅課長（田村浩一君） お答えいたします。

解体補助金のこの50万円と25万円の違いでございまして、50万円につきましては、倒壊のおそれがあるなど危険な状態にある空き家に対する補助金でございまして、25万円につきましては、老朽化が進行しまして修繕が困難な空き家に対する補助金というふうに区分けをしております。

以上でございます。

○副分科会長（市村 隆君） 大阿久委員。

○委員（大阿久岩人君） これに対しての判断というのは、家屋調査士とかという、そのプロがやっているのですか、それとも市職員がやっているのですか。

○副分科会長（市村 隆君） 田村建築住宅課長。

○建築住宅課長（田村浩一君） お答えいたします。

判断につきましては、市の職員が行っています。ある一定の基準がございまして、それに基づきまして危険かどうか、修繕が困難かどうかということで判断をさせていただいております。

以上でございます。

○副分科会長（市村 隆君） 大阿久委員。

○委員（大阿久岩人君） では、この判断というのは、市の職員といいながらも、専門職ということなのですか。

○副分科会長（市村 隆君） 田村建築住宅課長。

○建築住宅課長（田村浩一君） 判断につきましては、私ども建築住宅課の職員が行っておりますが、例えば物件について危険かどうかという判断だった場合には、そういった専門の方がいる部署の協力を得ながら連携してその物件の状態というのを判断して、最終的には建築住宅課のほうで補助金の額を決定するというふうな運用をしております。

以上でございます。

○副分科会長（市村 隆君） 針谷委員。

○委員（針谷正夫君） 285ページの市営住宅リフレッシュ事業費ということで、先ほど補正予算の中でお聞きしました。それで、不用額といいますか返還というか、大きな減額補正をした要因は、アスベストで工法を安いものに変えた。それから、3件の中止が出たということですが、そうしますと今回の場合は、アスベストは安い業者さんに頼むというふうなことでお見積もりをされていることになるのでしょうか。

○副分科会長（市村 隆君） 田村建築住宅課長。

○建築住宅課長（田村浩一君） 先ほど補正予算の中でリフレッシュ事業、アスベストの工法を変更したことによる減額ということでお話はさせていただきましたけれども、今回こちらの予算につきましては、当然工事を進めていく中でアスベストが使われている部分が、仮に出てくるかどうかという部分、事前には調べてはいるのですけれども、その部分、改修工事になりますので、実際改修をし始めてどういうふうな工法が一番ベストなのかというのを、工事を進めていく中で、仮にこちらのほうが安い工法になれば、またその工法に合った工事を行って、それに伴う変更をさせていただくということで一応今のところ考えております。令和6年度のリフレッシュ工事につきましては、令和5年度3件工事をやりましたけれども、令和6年度は1棟増やしまして4件の改修工事を予定しております。

以上でございます。

○副分科会長（市村 隆君） ほかに質疑はございますか。

大阿久委員。

○委員（大阿久岩人君） 269ページ、今泉泉川線の整備事業なのですが、先ほど補正のほうでもあったのですが、この物件移転の補償という形なのですが、これは何件ぐらいを予定しているのですか。

○副分科会長（市村 隆君） 増山道路河川整備課長。

○道路河川整備課長（増山輝之君） お答え申し上げます。

令和6年度につきましては、用地の取得を4件予定しておりまして、その4件に建っております建物も併せて取得する予定でございます。補償する予定でございます。

○副分科会長（市村 隆君） 大阿久委員。

○委員（大阿久岩人君） すみません。今、用地4件と言ったのだけれども、物件移転というのは分

からない。

○副分科会長（市村 隆君） 増山道路河川整備課長。

○道路河川整備課長（増山輝之君） 失礼しました。用地の取得に合わせて、一緒にその土地の上に建築されている建物4棟も併せて行います。補償いたします。

○副分科会長（市村 隆君） 針谷委員。

○委員（針谷正夫君） 279ページの一番上、栃木総合運動公園管理運営委託費、これは12月議会が何かのときに、新しい委託先が決まったと思います。その中にそういった行政に似たというか、共同みたいなことを盛り込んだ内容で非常に高く私も評価して質問した覚えがあります。12月議会だったかな。そうすると、それが今どんなふうな、具体的な形になって行われているのか、分かる範囲で、なかなかそこまで把握されていないのかどうか分からないのですが、一応額につきましては当然委託であれですけれども、その内容が、そういうことを提案していたので、新しい形だと思って評価の言葉を私発言したのですが、その内容等について分かりましたら、ちょっと教えていただければと思います。

○副分科会長（市村 隆君） 瀬下公園緑地課長。

○公園緑地課長（瀬下敏行君） 12月のときにご質問を受けたその事業内容、そちらにつきましては、あくまでも来年度、令和6年度からの事業ということで管理者のほうも考えている事業でございますので、まだ今現在につきましては、内容等細かく話を受けているところではございません。申し訳ございません。

○副分科会長（市村 隆君） ほかに質疑はございませんか。

大阿久委員。

○委員（大阿久岩人君） 263ページ、ブロック塀の撤去ということで、今年も補助金出ているのですが、これは大体何件ぐらいを見込んでいますか。

○副分科会長（市村 隆君） 大橋建築指導課長。

○建築指導課長（大橋 渉君） 来年度の話でよろしかったですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○建築指導課長（大橋 渉君） 建築基準法の道路に対しまして10件、通学路に対しまして15件ということになります。

○副分科会長（市村 隆君） 大阿久委員。

○委員（大阿久岩人君） ありがとうございます。

その上のブロック塀の調査業務委託料ということで、事業よりそちらの委託料のほうが高いというのですが、これは1回で終わりなのですか。

○副分科会長（市村 隆君） 大橋建築指導課長。

○建築指導課長（大橋 渉君） こちらの委託料につきましては、小学校の通学路に面する危険なブ

ロック塀の場所、塀の種類、塀の長さ、高さなどについて現地調査を行い、またその調査結果を調査書にする委託となっております。

○副分科会長（市村 隆君） 大阿久委員。

○委員（大阿久岩人君） 単年度というか、今年の予算でこの調査というか委託料というのは終わるのですか、それとも来年もまたやるのですか。

○副分科会長（市村 隆君） 大橋建築指導課長。

○建築指導課長（大橋 渉君） この委託料の中身のほうなのですが、まず調査の範囲といたしまして、市内の29校の小学校の周囲を、優先的に500メートルの範囲の通学路について調査を実施するものであります。そうしまして、再来年度、令和7年度におきましては、今度危険なブロック塀があったお宅に対しまして戸別訪問またはダイレクトメール等を送りまして、管理者等に対して安全確保の働きかけを行っていくというような状況でございます。その結果を踏まえて、その次に区域を拡大していく、またはこういった方法が安全、働きかけがいいのかということを検討していくというふうな状況になっております。

○副分科会長（市村 隆君） 大阿久委員。

○委員（大阿久岩人君） 今の説明だと小学校と言ったのですが、では中学校は入らないのですか。

○副分科会長（市村 隆君） 大橋建築指導課長。

○建築指導課長（大橋 渉君） まずは、小学校の通学路を優先的に進めてまいりたいと思っております。

○副分科会長（市村 隆君） 大阿久委員。

○委員（大阿久岩人君） 私がちょっと疑問に思っているのは、この450と上の900、事業より調査費用がかなりかかるというのは、これが毎年この数字でいくのかなというと、少しおかしいのではないかと。だったら逆に、工事のほうにもっと予算をつけて早く終わらせたほうがいいのかと、そういうふうに思うのですが、どう思いますか。

○副分科会長（市村 隆君） 大橋建築指導課長。

○建築指導課長（大橋 渉君） まずは、来年度この区域の調査を実施いたしまして、要は調査を行うに当たってブロック塀がまずどれだけあるかという把握もしていかなければなりません。また、危険なブロック塀がどれくらいあるのかということも、そのブロック塀の比率に対してどれだけ危険なものがあるかということもまた検討していかなければならないという中で、まずそれを、調査結果を踏まえた上で、今後優先的に、その方プラス一般、それ以外の場所の工事のほうの補助金の申請も当然受け付けてまいります。その次年度において、今度戸別訪問などをしていった中で、ブロック塀の管理者の方とお話をしながら、どういう反応が出てくるかということにもよりまして、また補助金を利用していただけるようになるべく私も働きかけていきたいと思っているのですが、全体的な方がそうでないということもあるかもしれませんが、それで次年度、どちらのほう

に重点を置いていくかというのを検討していくということになるかと思います。

○副分科会長（市村 隆君） 大阿久委員。

○委員（大阿久岩人君） 工事のほうに重点を置いて、終わって、次の段階に私は行ったほうがいいと思います。それは要望です。

以上です。

○副分科会長（市村 隆君） 針谷委員。

○委員（針谷正夫君） 65ページの上のほうです。公園使用料の中に公園使用料とあります。金額が1,780万4,000円となっていますが、改めてお聞きいたします。

○副分科会長（市村 隆君） 瀬下公園緑地課長。

○公園緑地課長（瀬下敏行君） こちら公園使用料の1,780万4,000円になりますけれども、1つが公園内施設設置に伴う使用料でありまして、こちらは今まで岩舟総合運動公園のサッカースタジアムが計上されておりました。来年度の予算といたしまして、現行1,354万1,000円を計上しております。そのほかの宅地等の貸付けもあり、あとつがの里内の有料施設の使用料、西方総合公園内の有料施設使用料、それとわたらせサイクルパークの使用料などを含みまして1,780万4,000円になっております。

〔「了解です」と呼ぶ者あり〕

○副分科会長（市村 隆君） よろしいでしょうか。

ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○副分科会長（市村 隆君） ないようですので、都市建設部所管の質疑を終了いたします。

議事の終了した執行部の皆様は退席していただいて結構です。お疲れさまでした。

ここで、執行部の入替えを行いますので、少しお待ち願います。

〔執行部退席〕

○副分科会長（市村 隆君） 次に、上下水道局所管の歳入歳出を一括した質疑に入ります。

なお、質疑に当たりましては、分科会説明表の上下水道局を御覧の上、所管部分をご確認いただき、質疑をお願いいたします。

質疑はありますか。

針谷委員。

○委員（針谷正夫君） 予算の内容についてはよく承知をしております。一般質問の中にも出まして。ただ、今一番大事なことは、7月、8月から今度は徴収するという話が出ていますので、そのことに全力を傾けた、前倒しして広報にかけるとか、そういったことだと思います。金額については聞きませんが、一応予算ですので、そのための予算が取ってあるのか。ないとすれば7月、8月前に前倒しをして市を挙げて皆さんの了解を得るようにしたいと私は考えていますが、その予算等につ

いてお伺いいたします。

○副分科会長（市村 隆君） 中山上下水道総務課長。

○上下水道総務課長（中山幸夫君） 一般会計部門ではなくて、水道……

○副分科会長（市村 隆君） どうしますか、いいですか。

小野寺上下水道局長。

○上下水道局長（小野寺正明君） 広報については引き続き力を入れていく予定なのですが、ただいまの一般会計部分につきましては、そちらの部分についてはこの後上程いただくことになります各事業会計の中で取り組んでいきますので、一般会計部分では特に計上はしていないと。ご理解いただければと思います。

○副分科会長（市村 隆君） ほかに質疑ございませんか。

大阿久委員。

○委員（大阿久岩人君） 636ページでいいのかな、真ん中に国庫補助500万円というのがあるのです。

その説明の中で、国からの交付金で衛星画像を活用した水道管漏水調査支援事業に対するデジタル田園都市国家構想推進交付金と書いてあるのですが、これはそこに使うという、そこ以外は使わないで、それをやるということですか。

○副分科会長（市村 隆君） 中山上下水道総務課長。

○上下水道総務課長（中山幸夫君） こちらにつきましても、水道事業会計だとは思いますが、これにつきましては、衛星画像……

○副分科会長（市村 隆君） 今のは上下水道だ。この後ですね。すみません。では、もう一回後で質問していただきますので。

上下水道局の所管部分についての質問をお願いします。

針谷委員。

○委員（針谷正夫君） 先ほど道路のほうで申し上げたのですが、道路のところに下水が掘ってあります。そのとき工事をいろいろお互いにします。そうすると、そのときに道路のことも考えて工事をしてもらいたいと。まして道路のほうはまた別の考えでやってもらいたいということで、道路のほうは非常にそういった予算が特別に高くなることはないので大丈夫……

○副分科会長（市村 隆君） 針谷委員、マイクのほうを。

○委員（針谷正夫君） きちんとしていますということなので……では、これも違うのだ。ごめんなさい。

○副分科会長（市村 隆君） よろしいでしょうか。

ほかに質疑は。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○副分科会長（市村 隆君） ないようですので、上下水道局所管の質疑を終了いたします。

議事の終了した執行部の皆様は退席していただいて結構です。お疲れさまでした。

ここで、執行部の入替えを行いますので、少しお待ち願います。

〔執行部退席〕

◎議案第7号の上程、質疑

○副分科会長（市村 隆君） 次に、日程第2、議案第7号 令和6年度栃木市平川産業団地特別会計予算を議題といたします。

お諮りいたします。本案については、歳入歳出を一括して審査いたしたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副分科会長（市村 隆君） ご異議なしと認め、そのように決定いたします。

ただいまから歳入歳出を一括した質疑に入ります。

なお、質疑に際しましては、一問一答の方法により、ページ数もお知らせ願います。

質疑ありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○副分科会長（市村 隆君） ないようですので、これをもって質疑を終了いたします。

ここで議事の終了した執行部の皆様は退席していただいて結構です。お疲れさまでした。

ここで、執行部の入替えを行いますので、少しお待ち願います。

〔執行部退席〕

◎議案第8号の上程、質疑

○副分科会長（市村 隆君） 次に、日程第3、議案第8号 令和6年度栃木市水道事業会計予算を議題といたします。

お諮りいたします。本案については、収入支出等を一括して審査いたしたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副分科会長（市村 隆君） ご異議なしと認め、そのように決定いたします。

ただいまから収入支出等を一括した質疑に入ります。

なお、質疑に際しましては、一問一答の方法により、ページ数もお知らせ願います。

どうぞ。

大阿久委員。

○委員（大阿久岩人君） 先ほど説明したからもういいのかなという気はするのですが、国庫補助金の500万円、実を言うと私たちの委員会が豊田市ですか、豊田市へ行ってこれを勉強してまいりま

した。すごい成果を上げているということで、栃木市も実を言うと、ついにやったなという気はするのですが、その辺をちょっと細かくお願いします。

○副分科会長（市村 隆君） 中山上下水道総務課長。

○上下水道総務課長（中山幸夫君） こちらの補助金につきましては500万円でございます、こちらは水道事業の費用のほうの配水及び給水費のほうで1,000万円、衛星画像を使った漏水調査ということでありまして、2分の1の補助が入る予定になっております。こちらにつきましては、衛星から写真を撮って、何か2つぐらい特殊な電波というか光線でやる衛星があるそうで、それで地中約2メートルから3メートルのところまで塩素が出ている水について反応が出るということで、そのほうを活用していきたいというふうに考えているための費用と収入でございます。

以上です。

○副分科会長（市村 隆君） 大阿久委員。

○委員（大阿久岩人君） 私たちの委員会がその勉強をしてきたとき、その衛星でやるとすごい漏水のパーセントが見つかる。なかなか今までお金がかかる事業だったらしいのです。それでなかなか取り入れることが難しいということで、これは国が動いたのかなという気がするのですが、これは栃木市としては、やはり大規模にやっていくのか、それとも形だけでやっていくのか、その辺の説明をちょっとお願いします。

○副分科会長（市村 隆君） 中山上下水道総務課長。

○上下水道総務課長（中山幸夫君） デジタル田園都市構想の交付金を使って行いますが、こちらにつきましては先日、県のほうからお話が参りまして、1回来年度はやるのですけれども、また数年後にもう一回やってくれるのだったら交付金を出しますよという内容を得ておりますので、今後どういうふうな活用ができるか、当然交付金をもらったほうが有利ですので、すぐに令和6年、令和7年というのは難しいと思うのですが、将来的にはまた考えていかなくはない事業かなというふうに考えております。

以上です。

○副分科会長（市村 隆君） 大阿久委員。

○委員（大阿久岩人君） この衛星の、ぜひ取り入れていただきたい。何回もちょっとしつこいようなのですが、かなりの成果を上げているという勉強をしてきましたので、早急に、先ほど言いましたが、本気なのか少しではないのかと、その辺は本気でやっていくと漏水がかなり、早く言えば適当に掘るのではなく、栃木市が今漏水ではなく、老朽管をこうやっていく感じだと思うのです。ですから、その辺がびしっと分かったところを工事をしたほうが早く効果が上がるのではないかとこのように思いますので、要望でございます。

○副分科会長（市村 隆君） 針谷委員。

○委員（針谷正夫君） 大阿久委員の1点で同じ考えです。それで、前に部長に行き会ったときには、

部長は非常に考えているというか、頭にはあるよと。ただ、建設の報告書を読んでいただきますと、その辺の様子がよく書いてありますので、やってくれるということで、ただ時期尚早ではないかというふうには私は書いたのです。だから、いつでも準備できるようにしておいてくださいというのを今日要望しようと思っていましたら、早速やるということで、英断に敬服します。ぜひいい結果が出ればですけども、数が増えれば単価はどんどん下がっていくという視察地の話でしたけれども。

以上です。要望です。

○副分科会長（市村 隆君） ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○副分科会長（市村 隆君） ないようですので、これをもって質疑を終了いたします。

◎議案第9号の上程、質疑

○副分科会長（市村 隆君） 次に、日程第4、議案第9号 令和6年度栃木市下水道事業会計予算を議題といたします。

お諮りいたします。本案については、収入支出等を一括して審査いたしたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副分科会長（市村 隆君） ご異議なしと認め、そのように決定いたします。

ただいまから収入支出等を一括した質疑に入ります。

なお、質疑に際しましては、一問一答の方法により、ページ数もお知らせ願います。

質疑をどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○副分科会長（市村 隆君） ないようですので、これをもって質疑を終了いたします。

◎閉会の宣告

○副分科会長（市村 隆君） 以上で当分科会の審査は終了いたしました。

なお、分科会長報告の作成については、副分科会長にご一任願います。

また、繰り返しになりますが、3月22日金曜日午前10時から予算特別委員会全体会において、分科会長報告、質疑、討論、表決を行いますので、よろしくお願いいたします。

これをもちまして予算特別委員会建設分科会を閉会いたします。

お疲れさまでした。

（午後 零時23分）